ECOMOC FENCE

TOBIRA

トビラ

リニューアル　2023年6月発売　面材：横貼りのみ対応

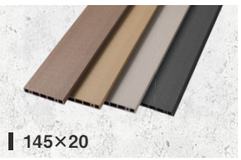
（現場造作品）

半ユニット品の簡易扉

シンプルデザインをコンセプトに開発した扉部材です。
エコモックフェンスに合わせた簡易扉をお作りいただけます。

見本 SPEC

COLOR	柱・金物：マットブラック 再生木板：サンディーブラウン 板　幅：145×20
SIZE	扉本体：W800 × H1230 全　体：全 W926 × 全 H1280



145×20

60×20

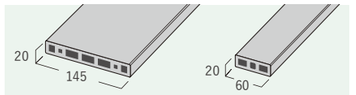
120×20　2023年6月発売

145×20　2023年6月発売

01 ORIGINAL・MOKUME・LIMITED すべての板に対応

ORIGINAL

145mm幅　60mm幅

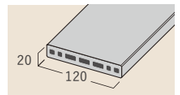


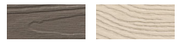
Color

（BR）（SB）（GG）（SGR）

MOKUME

120mm幅

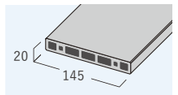




（MO）（BE）

LIMITED

145mm幅



（BG）（WH）

柱・扉フレーム

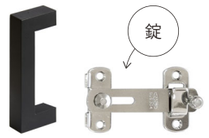
Color

（B）（S）（W）

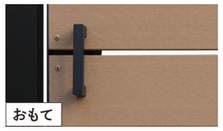
02 選べるハンドルセット

２種類の取手からお好きな方をお選びいただけます。※部材一覧は P34

取手セット ※1・2



シンプルな取手と、簡易な打掛錠のセットです。
打掛錠は、取付け方向からのみ施錠・開錠が可能です。
※反対面では操作できません。



レバーハンドル錠セット ※1

施錠機能のある、鍵付のハンドルセットです。ノブが表裏で連動して動き、鍵は表裏どちらからも施錠・開錠が可能です。

※1：色はブラック色・ステンカラー色からお選び下さい。ホワイト色はありませんのでご注意下さい。
※2：ハンドルが取手の場合、勝手口としての簡易戸であり、施錠は簡易な打掛錠のみとなりますのでご注意下さい。

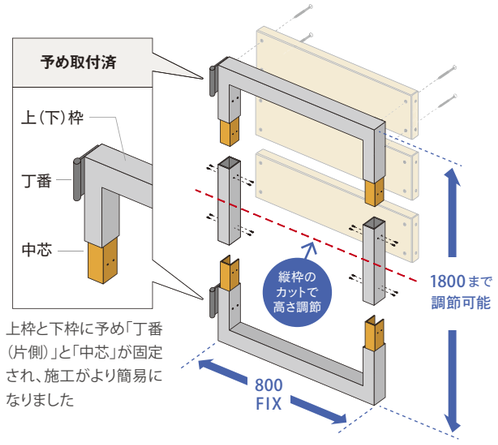
03 新 半ユニット扉フレーム

NEW　リニューアルでより簡易な組立に。

「扉フレーム」を昨年の半ユニット品から更にリニューアル。
従来、全て現場組立だった「扉フレーム」を、縦枠を除き予め組立した状態で納品する事で、より簡易な施工となりました。
現場ではフレームの縦枠をカットして扉の縦サイズを調節し、ビス留めをするだけで扉枠が完成します。

TOBIRA 商品仕様

扉フレームサイズ	規格品　W800（固定）× H1800まで調節可能 ※2 特注品　W800まで × H1800まで ※3
開閉仕様	片開きのみ（両開き不可） ・右吊元 内開き／外開き ・左吊元 内開き／外開き
フェンスとの連結	無し（完全独立型のみ）



上枠と下枠に予め「丁番（片側）」と「中芯」が固定され、施工がより簡易になりました

※　：扉フレームの上下枠と縦枠は塗装方法が異なる為、色差があります
※2：扉のワイド寸法は W=800 が規格寸法となります。
※3：規格外の寸法をご希望の場合、受注生産にて製作可能です。
都度お問い合わせください。（納期：４週間必要です）

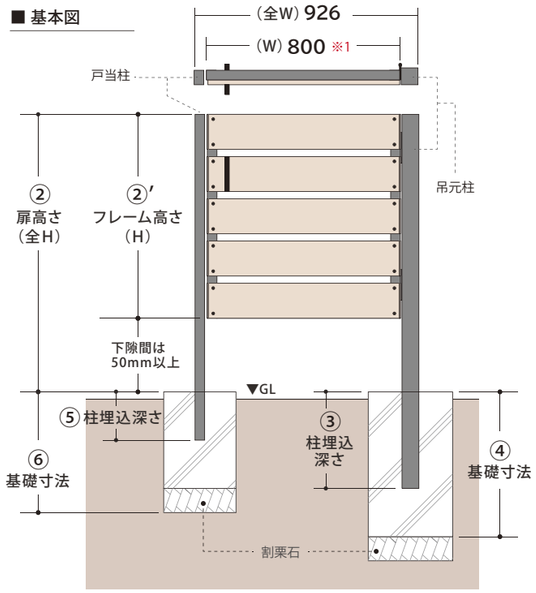
扉納まり 変更のお知らせ

扉の旧商品は「両サイド」もしくは「片側」にフェンスが来た場合、扉の柱とフェンスの柱を兼用可能としていましたが、今回のリニューアルより「独立」仕様のみの対応となります。

商品説明
TOBIRA

■ 参考施工仕様 ［ 扉／ ORIGINAL・MOKUME・LIMITED　共通 ］

■ 基本図



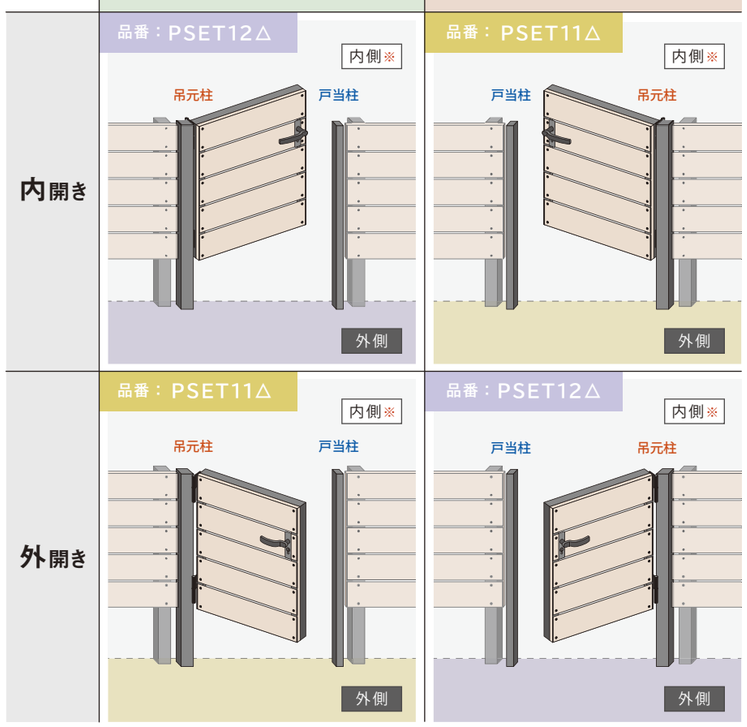
■ 仕様

組立方法／貼り方	半ユニット組立品 ／ よこ貼り	
主要部品 材質	板：再生木板 ／ 柱：アルミ	
動作	片内開き・片外開き（両開き不可）	
① ①′ 横幅	①：926	①′：800 ※1
② ②′ 扉高さ	②：1800 まで	②′：1750 まで

扉高さ	～H=1200	H=1201~1500	H=1501～1800
③ 柱埋込深さ (吊元柱)	400mm以上	450mm以上	500mm以上
④ 基礎寸法 (吊元柱)	巾350×厚350 根入600	巾450×厚450 根入700	巾500×厚500 根入700
⑤ 柱埋込深さ (戸当り柱)	200mm以上	300mm以上	
⑥ 基礎寸法 (戸当り柱)	巾300×厚300 根入400	巾450×厚450 根入450	

※1：扉の横幅(W)は W=800 のみとなります
W=800 以下のサイズは受注生産品（都度見積）となります（納期：4 週間程）

■ 扉半ユニットセット　対応品番早見表

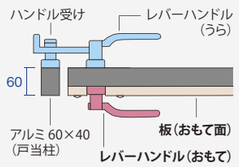


※家の内側に板のおもて面を貼る場合（＝上記イラストの「外側」となっている方に「内側」がくる場合）は、
イラストの「内側・外側」の表記を無視し、実際の見え方と合致するセットをお選び下さい。
※品番の「△」には、色品番を入れて下さい。

レバーハンドル 推奨取付面

通常施工

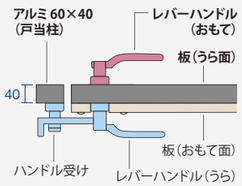
レバーハンドルの取付面は、**「レバーハンドル（おもて）」**を**「板（おもて面）」**に取り付ける方法が、通常施工となります。



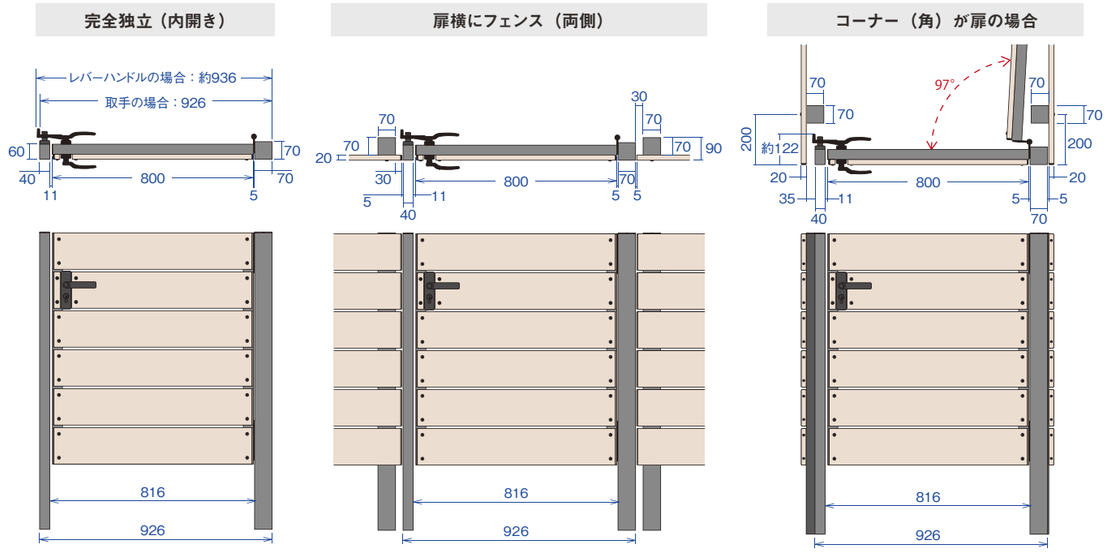
特殊施工

「レバーハンドル（おもて）」が**「板（うら面）」**に来る場合は特殊施工となります。
この場合、戸当柱を「独立」とし、柱の埋設位置や向きを調整する事で施工可能です。

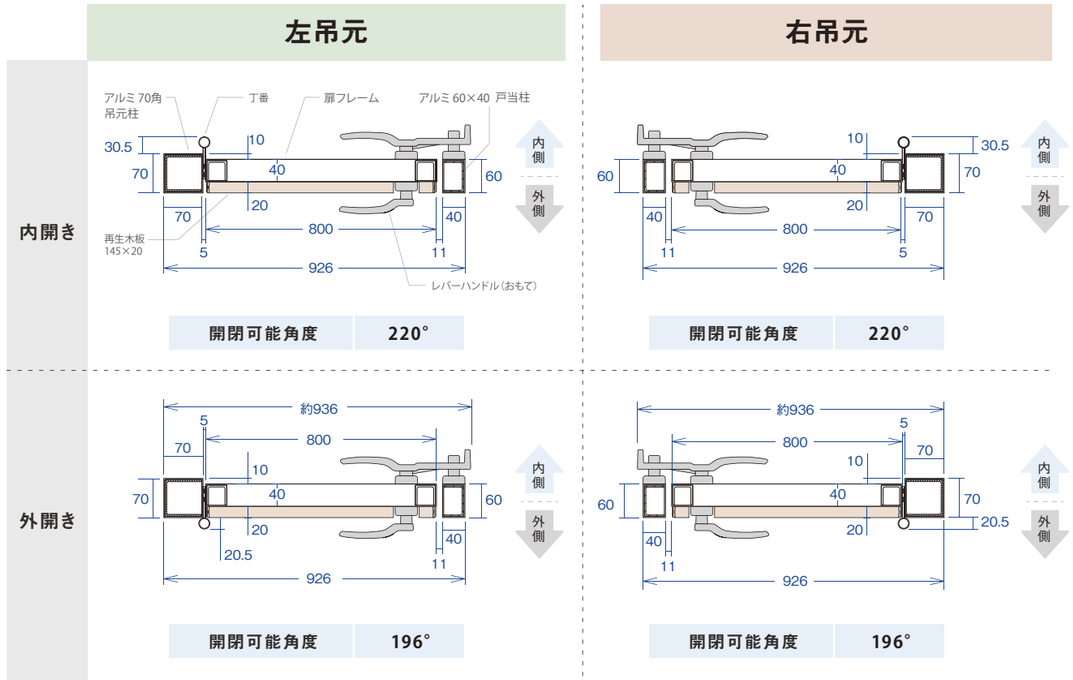
※見積ご依頼の際は必ず
ご指示下さい
※施工は現場判断で行って下さい



■ パターン別 納め図例（右吊元／内開き（押戸）／レバーハンドルの場合）　（平面図・立面図）



■ 推奨納め図 ／ 開閉角度　（平面図）



※扉の開閉可能角度は、回りに障害物がない場合のおおまかな目安角度です。吊元の丁番位置をずらした場合は角度が変わる場合が有ります。

⚠ 扉納まり 変更のお知らせ

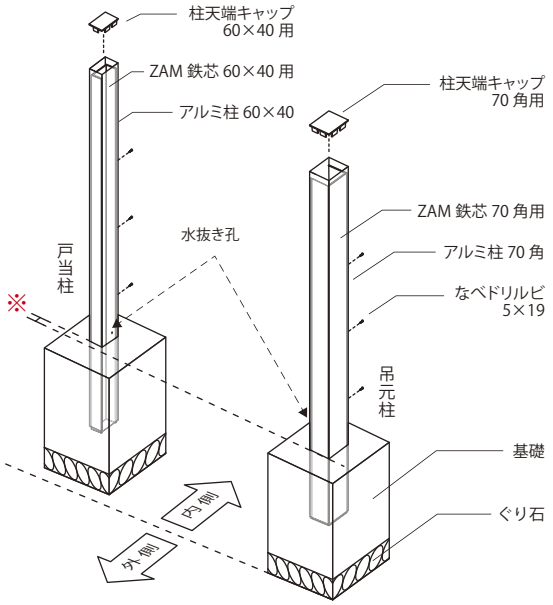
扉の旧商品は「両サイド」もしくは「片側」にフェンスが来た場合、扉の柱とフェンスの柱を兼用可能としていましたが、今回のリニューアルにより「独立」仕様のみの対応となります。

■ 施工手順

※：扉の施工方法詳細は、必ず施工要領書をご確認下さい。

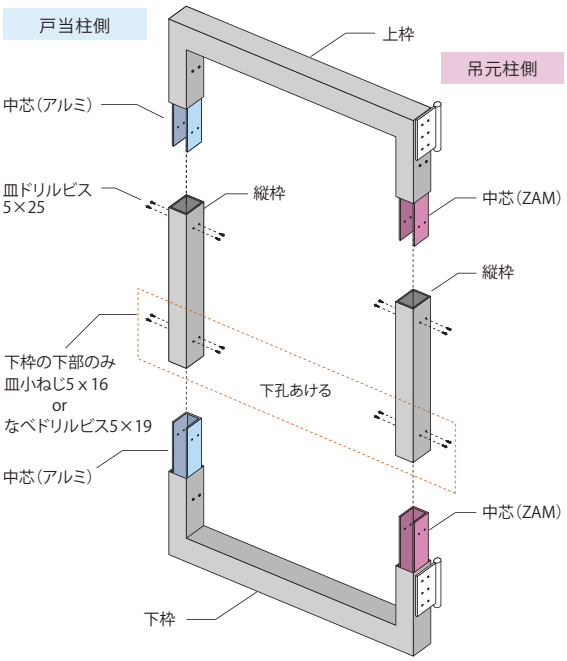
1 吊元柱・戸当り柱を設置する

※吊元柱・戸当柱の埋設位置は、扉のパターンにより異なる為、施工要領書の「納め一覧表」を参照し施工して下さい。
●吊元柱には、ZAM鉄芯（70角用）を入れて下さい。
●戸当柱には、H=1200以上の場合、ZAM鉄芯（60×40用）を入れて下さい。



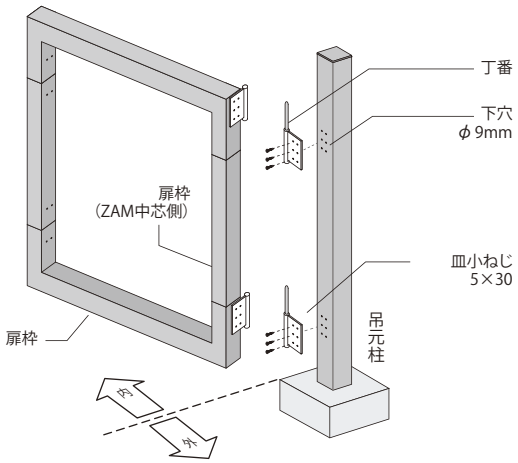
2 扉枠を組立する

●扉半ユニットセットの「縦枠」を扉高さに合わせてカットする。
●治具を使って、縦枠下部の所定位置に下孔をあける。（もしくは座彫り加工をする）
●扉半ユニットセットの「上枠」に「縦枠」を挿し込み、皿小ねじ5×16で留付して連結する。
●先程連結した枠に「下枠」を挿し込んで連結し、「縦枠」にあけた下孔位置を、なべドリルビス5×19で留付する。（座彫り加工をした場合は皿小ねじ5×16で留付する。）



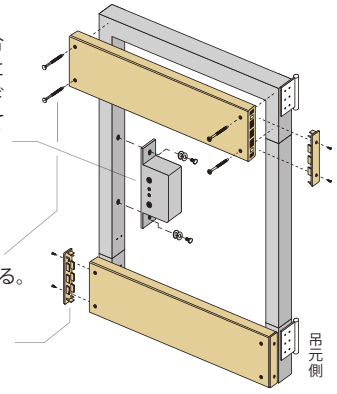
3 丁番下部を付け、扉枠を吊り下げる

●丁番治具を当て、穴位置に墨付けする。
●吊元柱の墨付けした箇所に、下穴（φ9mm）をあける。
※丁番の取り付け位置は、扉の納めにより異なります。施工要領書を基に施工下さい。
●ターンナットを仕込み皿小ねじ5 x 30で丁番下部を留付する
●扉枠を吊り下げる
※戸当り柱とのチリ寸法が空きすぎた場合、丁番スペーサーを使用してチリ寸法の調節をして下さい。



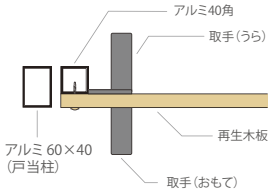
4 扉枠へ再生木板・周辺小物を取付ける

★レバーハンドル仕様の場合「取付用ボックス」を扉枠に取付ける。（板位置とハンドル位置を確認して取付して下さい。）
●再生木板にφ7mmの下穴をあける。
●再生木板をシンワッシャードリルビスで扉枠に留付する。
●再生木板に、端部キャップをビス留する

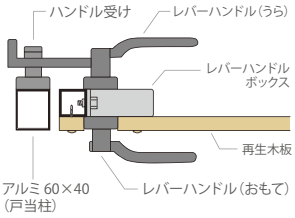


5 取手セット 又は、レバーハンドルセットを取付する

取手セット（上面図）



レバーハンドルセット（上面図）



6 戸当りを付ける

●戸当りを付属のビスで取り付ける。
取付場所は、内開きか外開きかで異なるので注意して下さい。

7 完成